

五所川原立佞武多

ビル7階建てに匹敵する高さ約23メートル、重さ約19トンの偉容。百年の時を経て歴史が街を練り歩く。



北国の夏に渦を巻く、激しい熱気

青森県を代表する火まつり「ねぷたまつり」は、厄払い行事として始まり、津軽地方を中心に受け継がれています。商人の街として栄えてきた五所川原市では、明治時代になると、豪商や大地主が競いあって巨大なねぷたを造りました。しかし、街中に電線が張られたり、火事で設計図が失われたために巨大ねぷたはなくなってしまいました。それを復活したのが「五所川原立佞武多」です。

勇ましく、華やか、巨大絵燈籠

笛や太鼓で演奏されるお囃子にあわせて〝ヤッテマレ〟という勇ましいかけ声とともに運行するねぷたは、なんと高さ約23メートル、重さ約19トン！これらは木の骨組みに針金を巡らせ、和紙を貼って複雑な姿をつくっています。明かりに浮き上がる力強い墨の輪郭と鮮やかな色彩は、津軽独特の美しさです。



2026年7月「立佞武多の館」リニューアルオープン

【五所川原立佞武多まつり】

- ●期間／8月4日～8日●時間／19:00～21:00
- ●料金／有料観覧席3,300円～（要申込）
- ●場所／五所川原市中心街
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約3分
- ●問／五所川原市観光協会☎0173-38-1515
  ※有料観覧席については、
  FMごしょがわら☎0173-34-3311
  まちなか五所川原☎0173-33-6338





上2点：立佞武多の館で展示される大型立佞武多

祭りの情熱を体感「立佞武多の館」

祭りに使用する３台の立佞武多を展示。4階から1階までらせん状のスロープがあり、祭りでは見ることのできない位置から立佞武多を眺められます。祭りの時に演奏される音楽「お囃子」の実演もあり、祭りの雰囲気をたっぷり感じられます。



館内には大型スクリーンがあり、五所川原市の風土や祭りの臨場感を感じられます。

立佞武多の館で製作体験

引退した立佞武多の紙を使ったうちわ作りができます。「立佞武多のうちわ」は独特の和柄と色使いが人気です。他にも金魚ねぷたなど津軽の民芸品も作れます。また、巨大な立佞武多が徐々に仕上がってゆく製作風景を見学することもできます。

【立佞武多の館】

- ●時間／9:00～19:00（4月～9月）、9:00～17:00（10月～翌3月）
  9:00～21:00（8月4日～8日）、9:00～15:00（12月31日）
- ※展望ラウンジは宴会の場合21:00まで
- ※お囃子実演は日曜10:10～、11:10～、13:10～、14:10～（約10～15分）
- ●入館料／立佞武多展示室一般800円
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
- ●問／立佞武多の館☎0173-38-3232
- ●MAP：Ⓑ C-2



うちわ作り体験



「金魚ねぷた」作り体験





立佞武多の骨組み作業（体験無し）

【立佞武多の館で製作体験】

- ●期間／通年
- ●所要時間／45分～90分
- ●体験料／500円～（メニューにより異なります）
- ●交通／JR五所川原駅より徒歩約5分
- ●問／立佞武多の館☎0173-38-3232 ●MAP：Ⓑ C-2